

少子化に関する若い世代の意識等調査結果（抜粋） 〈速報版〉

1.調査概要

目的 : 本県においても少子化が進行していることを踏まえ、少子化対策を推進していく上で、少子化に関する若い世代の意識や要望等について把握するための調査を実施。

設問 : 54 問 属性設問、基礎調査（結婚観・家族観、県の子ども・子育て支援施策）、既婚者調査（出会い、婚活）、独身調査（交際、結婚、出会い、婚活）

対象 : 千葉県内在住の満 18～39 歳 約 10,000 人

方法 : 郵送配付、郵送・インターネットによる無記名回収

期間 : 令和 6 年 10 月 7 日～令和 6 年 10 月 31 日

回答数 : 2,693 人 有効回答率＝約 27.0%

2.アンケート集計結果

【結婚観・家族観について】

(1) 行政の婚活支援施策に求めるもの

- 「婚活とは呼称しない、異業種交流会等の出会いイベントの開催」
「婚活イベントの開催」がともに最多の約 50%

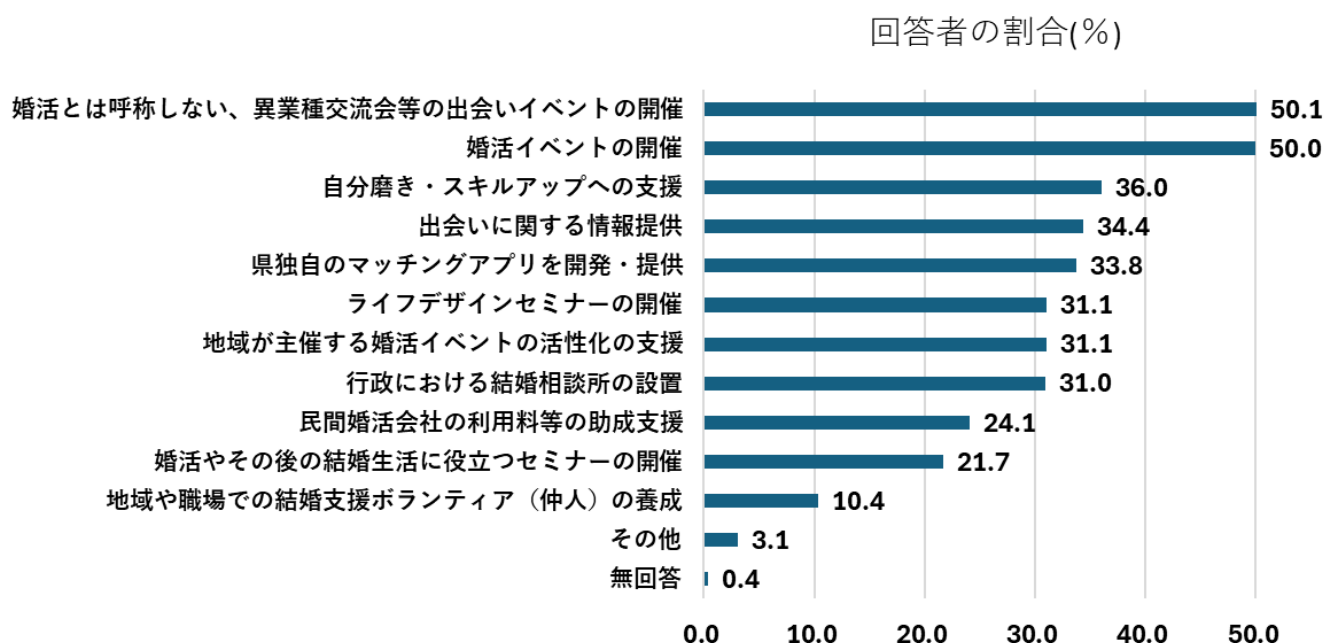


図 行政の婚活支援施策に求めるもの

クロス集計の特徴的な結果

- 婚姻状況の差が最も大きい項目は、「地域が主催する婚活イベントの活性化の支援」で、既婚が独身を 11.1 ポイント上回る。
- 男女の差が最も大きい項目は、「出会いに関する情報提供」で女性が男性を 10.4 ポイント上回る。

(2) 理想の子ども数

- 理想の子ども数について、「2人」が最多の54.0%

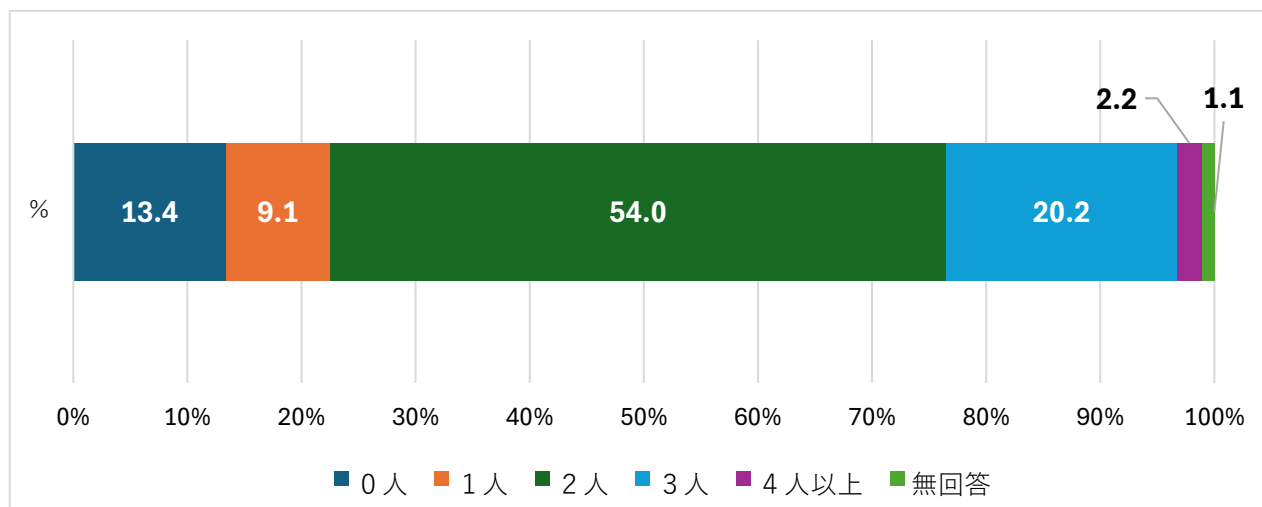


図 理想の子ども数

n=2693

(3) 予定の子ども数

※「(2) 理想の子ども数」で1人以上と回答した方を対象に、実際に持つ予定の子ども数を質問

- 予定の子ども数について、「2人」が最多の50.9%

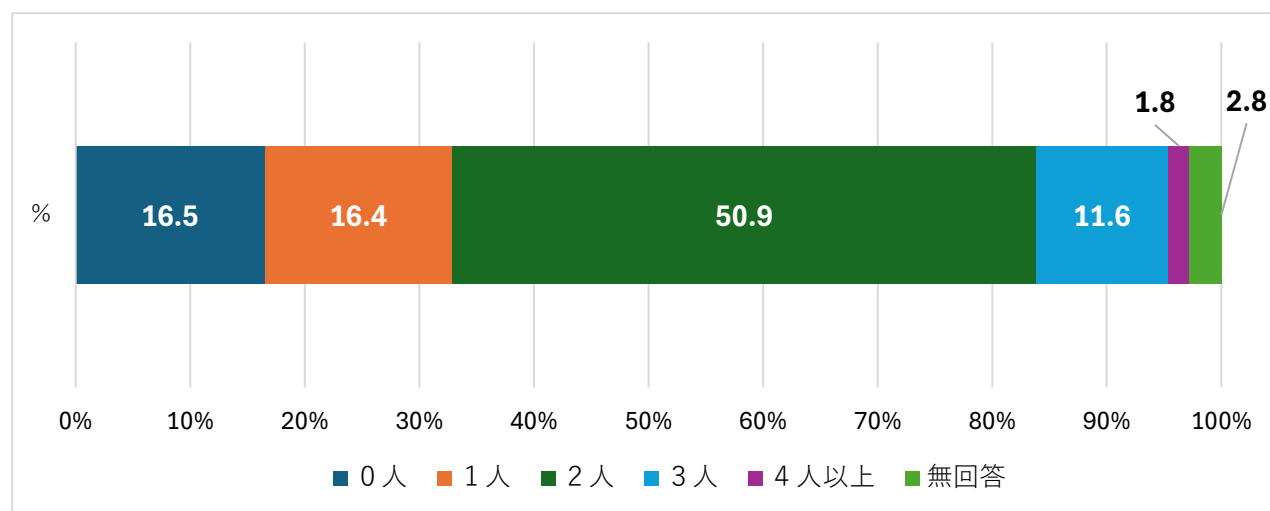


図 予定の子ども数

n=2302

(4) 理想の数の子どもを持たない理由

※「(3) 予定の子ども数」が「(2) 理想の子ども数」より少ない方を対象に、その理由を質問

- 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最多の 41.2%

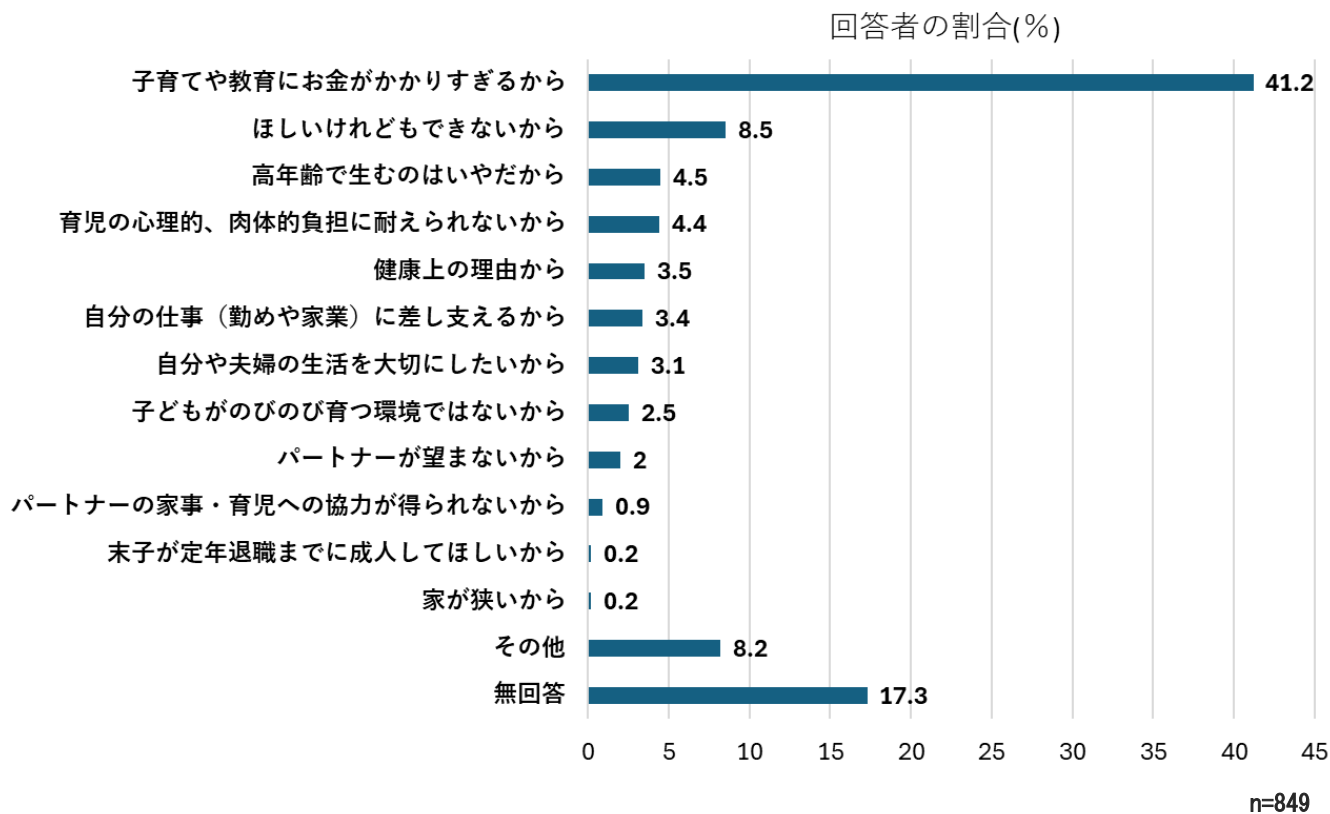


図 理想の数の子どもを持たない理由

クロス集計の特徴的な結果

- 婚姻状況の差が最も大きい項目は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」で、既婚が独身を 17.8 ポイント上回る。

【子ども・子育て支援施策について】

(5) 子ども・子育て支援施策に求める取組

- 「現金給付など、家庭の経済的負担の軽減」が最多の 46.3%

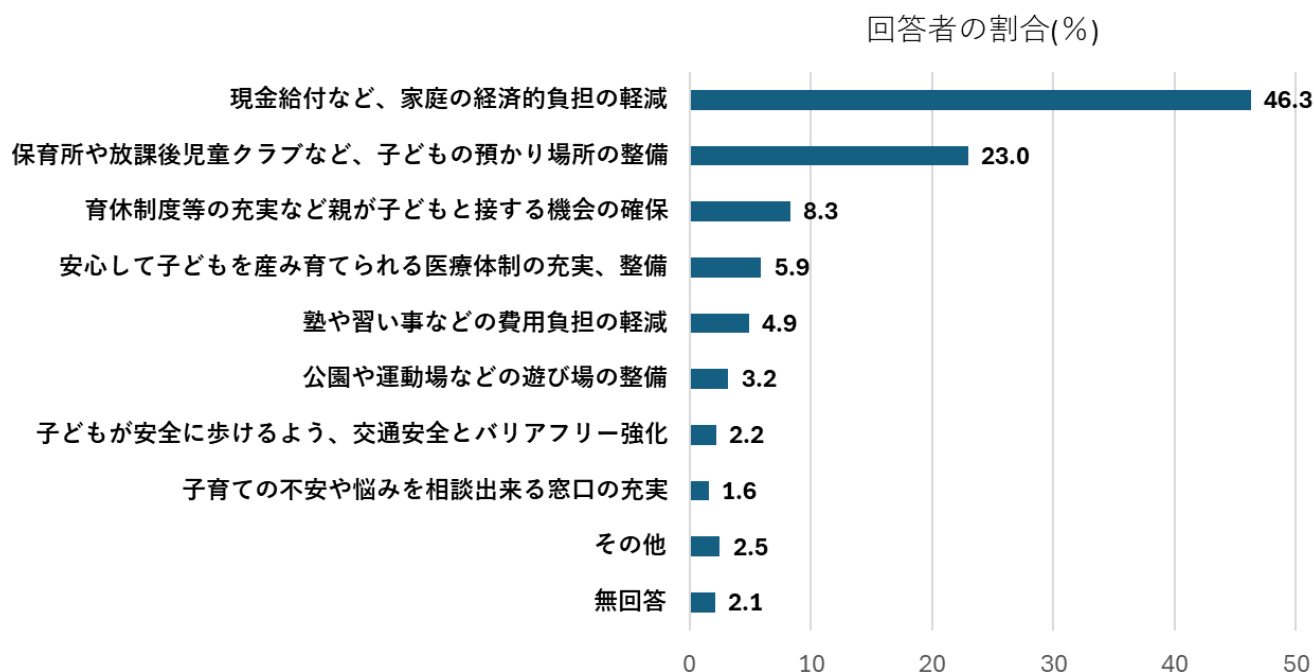


図 子ども・子育て支援策に求める取組

n=2693

クロス集計の特徴的な結果

- 婚姻状況の差が最も大きい項目は、「現金給付など、家庭の経済的負担の軽減」で、既婚が独身を 6.3 ポイント上回る。

【結婚について】

(6) 独身でいる理由【独身調査】

- 「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最多の 19.8%

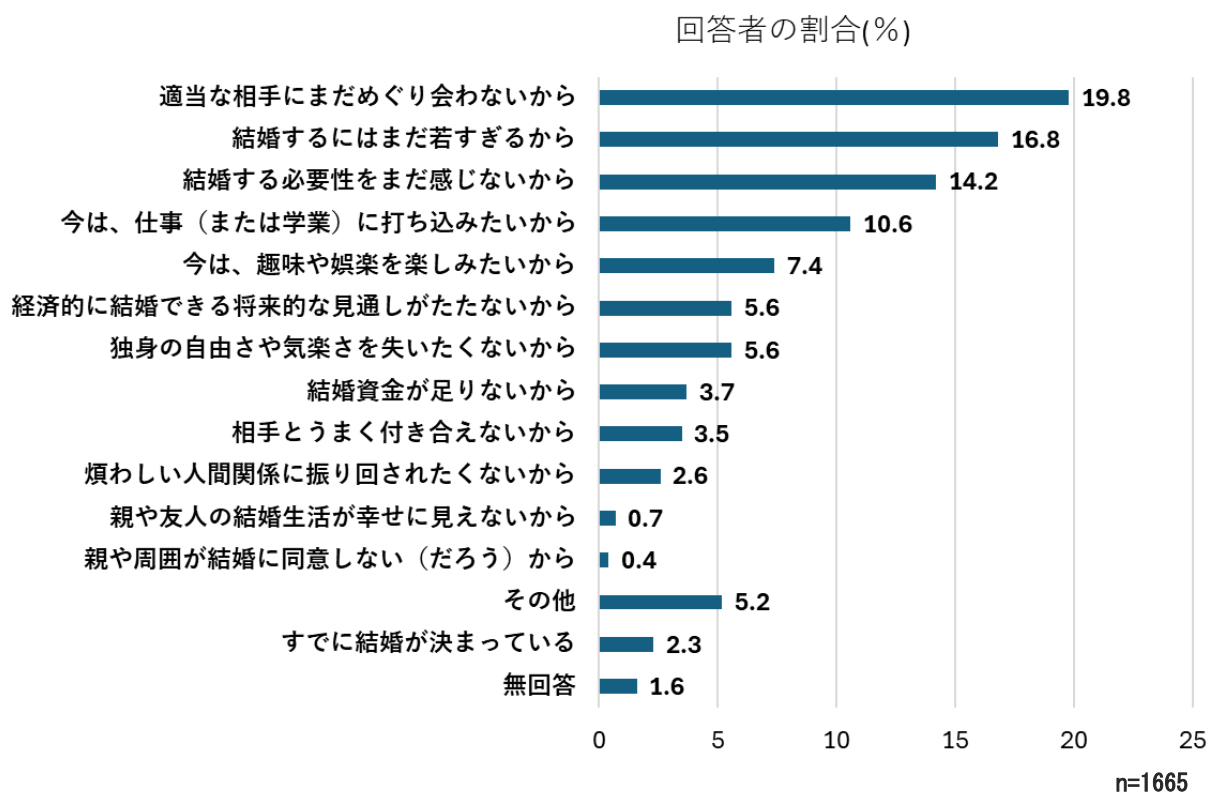


図 独身でいる理由

クロス集計の特徴的な結果

- 男女の差が最も大きい項目は、「経済的に結婚できる将来的な見通しがたたないから」で、男性が女性を 5.1 ポイント上回る。

【出会いについて】

(7) 理想の結婚相手との出会い【独身調査】

- 「趣味を通じて」が最多の 64.5%

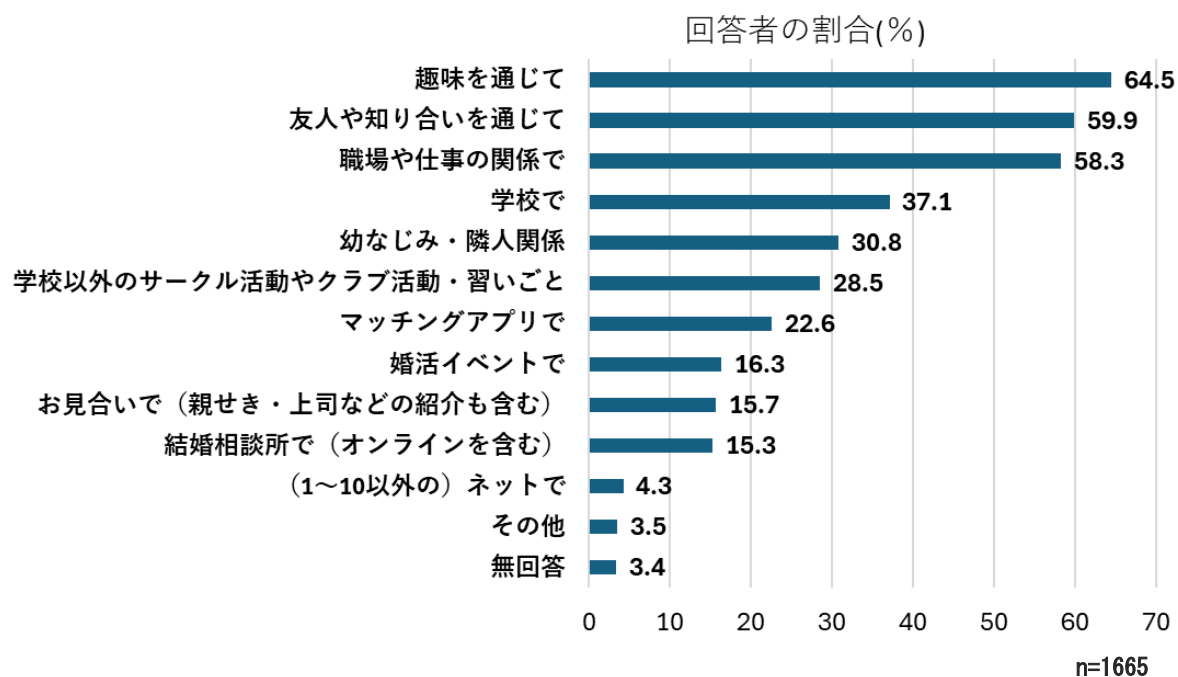


図 理想の結婚相手との出会い

クロス集計の特徴的な結果

- 男女の差が最も大きい項目は、「友人や知り合いを通じて」で女性が男性を 7.2 ポイント上回る。